

財務概要

施設整備の主な整備状況

社福学部

構築物	780,000円	物置
管理用機器備品	182,952円	携帯電話器
図書	1,364,112円	蔵書
車輛	17,260,090円	乗用車

大学院

図書	21,652円	蔵書
----	---------	----

短期大学部

建物	704,000円	扉・網戸取付工事
図書	498,008円	蔵書

看護学部

教育研究用機器備品	620,950円	アクセスポイント増設機器
図書	1,974,858円	蔵書

リハビリテーション学部

教育研究用機器備品	982,300円	ソフトビジョン・パソコン
管理用機器備品	129,800円	シュレッダー
図書	2,507,730円	蔵書

医療技術学部

建物	1,078,000円	警備センサー工事
構築物	2,106,120円	外構工事
教育研究用機器備品	67,180,077円	プロテイン検査機器他研究用機器備品
図書	281,485円	蔵書
ソフトウェア	365,839円	画像編集ソフト他

幼稚園

車輛	7,028,260円	園児送迎乗用車
----	------------	---------

公認会計士と監事の監査報告及び財務計算書の資金収支計算書と経年推移・活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書と経年推移・貸借対照表と経年推移・事業活動収支関係比率経年推移・貸借対照表関係比率経年推移は別掲のとおりである。また令和3年度の財務概要としての施設整備状況は前記のとおりである。

令和3年度の財務概要としては今年度から大学部門において新学部（医療技術学部）が開校したことにより一学年の収入に対し、新学部対応の人件費他運営固定費が支出されたので当期収支差額は支出超過となった。

学生生徒等納付金収入は前期と比較し新学部の他は微増の決算額であるが、次年度は医療技術学部が2学年となり、他の学部も学生納付金収入は入学状況から見て順次増額へ移行していくものと

見られる。なお、経常収支差額は新学部の他は前期比1億4千万円の増となり経常収支は好転した。

繰越収支差額は施設整備が全額自己資金により整備されているので全額基本金組入も計上したことに伴い多額な支出超過となっているが、新学部の完成年度に向けて収入超過に改善される見込みである。

中長期計画並びに財務運営経年推移を踏まえ、学生生徒に対する教育的還元は当面収支バランスを維持しながら充実向上が図られてきているが、運営整備資金的には自己資金で資金計画を組み、健全な財政運営を持続していく計画のうえ財務状況は良好に維持できるよう努力しなければならないところである。さらに大学法人としての教育研究目的を順当に達成するため必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指す財務の方針である。